

地震発生時の初動マニュアル（学生用）（浜松地区）

平成 26 年 3 月 防災対策委員会

地震発生時の初動マニュアル（全構成員共通）

地震発生

- (1) まず、身を守る！
机の下などへ
- (2) すばやく火の始末！
ガスの元栓、コンセント、実験器具
- (3) 非常脱出口の確保！
ドアを開ける



地震発生後 1～2分

- (1) 火の元確認！
火が出たら、落ちていて初期消火
- (2) 同室員の安全を確認！
倒れた書庫等の下敷きになっていないかを確認、けが人の確認
- (3) 作業中の実験器具等の停止！



地震発生後 3分

- (1) 隣接する部屋で助け合う！
他の部屋・教室等で倒れた書庫等の下敷きになっていないか確認
- (2) 余震に注意！
建物の状況により、余震で崩壊する恐れのある場合は、部局指定の避難場所に避難



静岡大学安否情報システムを利用した安否確認

メール受信後、直ちに自分自身の安否情報を入力する

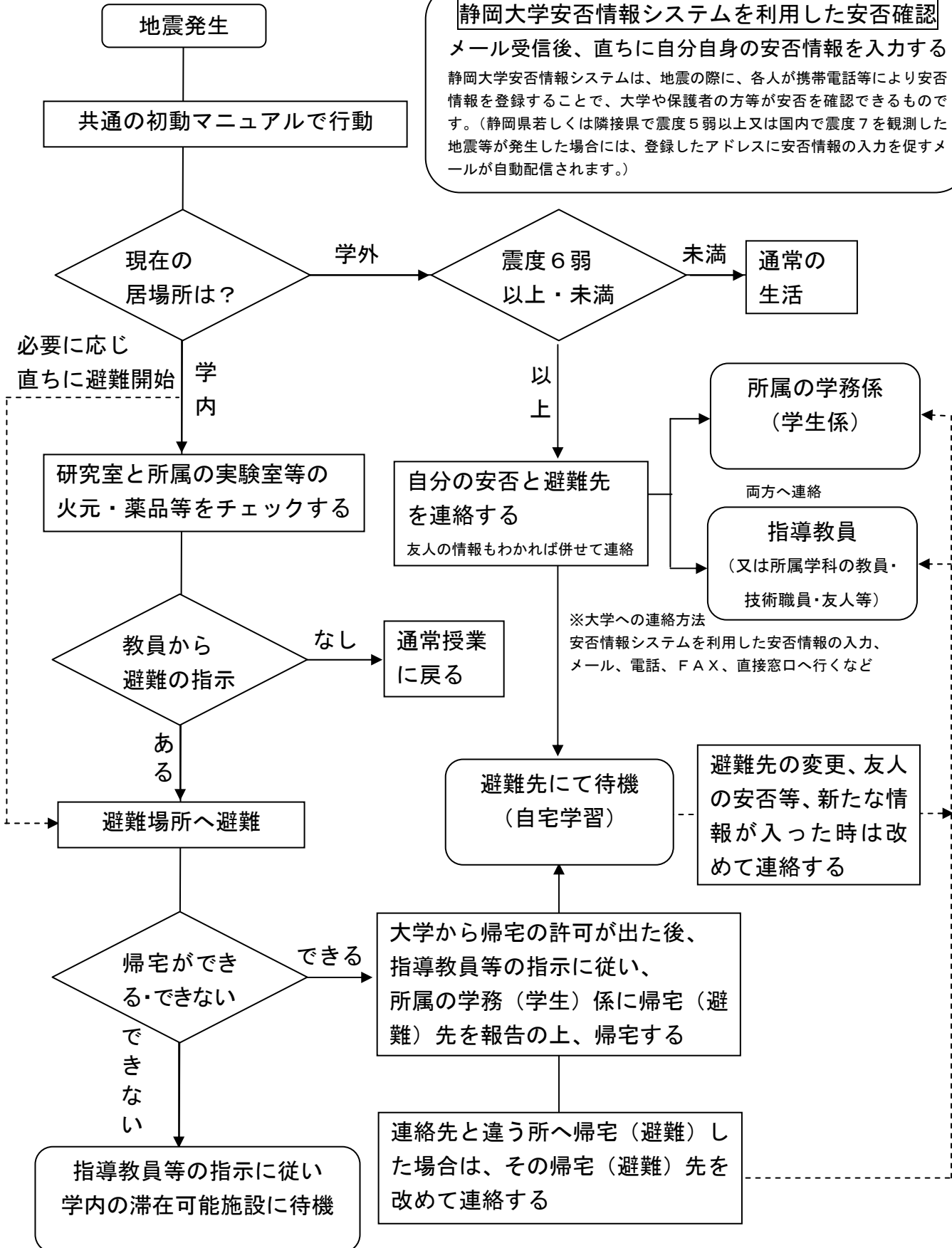
静岡大学安否情報システムは、地震の際に、各人が携帯電話等により安否情報を登録することで、大学や保護者の方等が安否を確認できるものです。（静岡県若しくは隣接県で震度5弱以上又は国内で震度7を観測した地震等が発生した場合には、登録したアドレスに安否情報の入力促すメールが自動配信されます。）



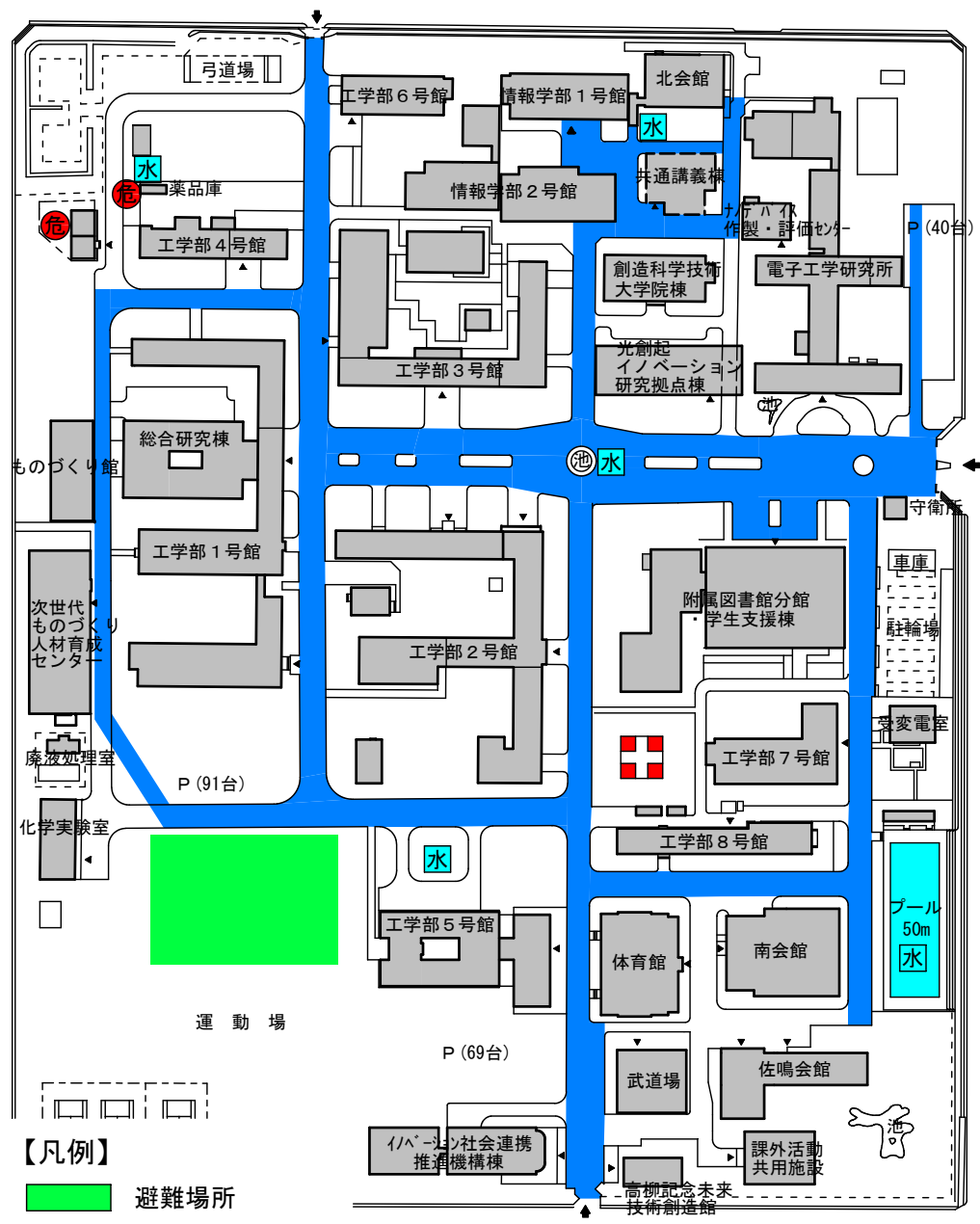
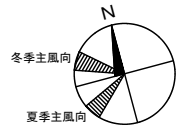
以下、各自のマニュアルへ

地震発生時の初動マニュアル（学生）

静岡大学安否情報システムを利用した安否確認
メール受信後、直ちに自分自身の安否情報を入力する
静岡大学安否情報システムは、地震の際に、各人が携帯電話等により安否情報を登録することで、大学や保護者の方等が安否を確認できるものです。（静岡県若しくは隣接県で震度5弱以上又は国内で震度7を観測した地震等が発生した場合には、登録したアドレスに安否情報の入力を促すメールが自動配信されます。）



静岡大学防災地図 (浜松地区)



【凡例】

- 避難場所
- 幹線避難路
- 救急衛生対策班
- 防火用貯水槽(地下貯水槽を含む)
- 危 R I 等の危険箇所
(薬品管理室は別紙による)